

## 「慢性腎臓病におけるリスク因子の治療が 予後に及ぼす影響」の情報公開文書

はじめに

この研究は通常の診療で得られた過去のカルテより得られた情報を利用して、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように書きの疫学研究をおこなっています。この研究の結果は学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、特定される個人の情報が外部に公表されることは一切ありません。**本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合やご質問等がございましたら、下記問い合わせ先にご連絡下さい。**なお、本研究において受診者の方に新たに発生する検査や費用はありません。

### 本研究の概要

#### 1. 研究の目的

慢性腎臓病は成人の8人に1人と言われており、その進行予防は非常に重要な課題です。本研究では、慢性腎臓病に対する治療目標達成とその後の腎不全進行および死亡との関連を検討します。

#### 2. 研究期間

倫理審査承認日から 3 年間

#### 3. 倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けている

臨床研究は患者さんを対象に実施する研究ですので、患者さんの人権が保護され、安全性が確保されているかどうか、また、研究を実施することに問題がないかなど、研究の実施について倫理的・科学的な側面からの審査を受けることが義務付けられています。本研究の実施にあたっては京都医療センターの倫理審査委員会および京都大学医の倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得ております。

#### 4. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究責任者

氏名：村田 真紀

研究機関名：京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野

#### 5. 研究の方法

対象者：

2010年4月から2014年3月の期間に京都医療センターの腎臓内科外来を通院していた18歳以上の方

利用する情報：

年齢、性別、生年月日、初診日、合併症、既往歴、生活歴、治療内容、血液・尿検査、腎代替療法への移行、死亡情報

6. 試料・情報の利用目的・利用方法

上記情報をカルテなどの診療情報から収集いたします。収集したデータは個人情報にならないように匿名化処理された状態でデータベース化して保存します。研究者の施設の倫理委員会で承認を得た後に、このデータベースを用いた臨床研究を行います。

7. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名

研究責任者

氏名：瀬田 公一

共同研究機関名：国立病院機構 京都医療センター 腎臓内科

8. 試料・情報の管理について責任を有するものの

研究責任者

氏名：村田 真紀

研究機関名：京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野

9. 研究対象者及びその関係者からの求めや相談等への対応方法

この研究について何かお聞きになりたいことがありましたら御遠慮なく下記にお問い合わせください。

(研究責任者)

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野 村田 真紀

連絡先住所：〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町

(E-mail) murata.maki.34r@st.kyoto-u.ac.jp

(京都医療センター相談窓口)

国立病院機構京都医療センター腎臓内科 瀬田 公一

TEL 075-641-9161